1.貧困をなくそう

経済支援制度

慶應義塾では、学生が経済的な理由で勉学の機会を失うことのないように、奨学金をはじめとした様々な制度を設け、学生生活を経済面から幅広くサポートしています。

奨学金

学業に専念できる環境を整え、良識ある知識人として活躍できる人材育成の支援を目的に、成績優秀者を対象とした奨学金、家計状況が急変した際の支援、地方出身者や留学生、海外でのグローバルな学習活動への支援など、学生のニーズに対応するさまざまな奨学金を用意しています。大学独自の奨学金は全て返済不要の「給付型」であり、学部・研究科独自のものも含めると、その数は120種類にものぼります。奨学金の総額は2025年度時点で9.4億円、受給者数はのべ2,040名です。慶應義塾独自の奨学金の他にも、民間団体、地方公共団体、日本学生支援機構の奨学金も申請することが可能です。

▶ 慶應義塾独自の経済支援奨学金の一例

- 慶應義塾大学修学支援奨学金
  生計維持者の死亡・失職・疾病による家計の急変、継続的な収入不足、大規模自然災害（地震、風水害等）による被災など、様々な原因により経済的な困窮を解消できず学費の支弁が困難な学生を支援する奨学金です。修学を強く志す学生が勉学の機会を失うことのないように、困窮の理由を限定することなく幅広くサポートしています。
- 慶應義塾大学東日本大震災被災学生復興支援奨学金
  東日本大震災により被災し、経済的に就学が困難である学生を対象とする奨学金です。卒業生や三田会、篤志家の皆様からの寄付も財源に充てて運営しています。
- ゴールドマン・サックス・スカラーズ・ファンド私費外国人留学生奨学金
  米国の大手金融機関ゴールドマン・サックスから寄贈された資金により2013年度に創設された奨学金です。人物・学業成績ともに優れ、かつ開発途上国出身である等の事由により、経済的理由で学業に専念することが困難であると認められた私費外国人留学生に対して、使途を学費への充当とする奨学金を給付し、世界に貢献しうる有為な人材の育成に寄与することを目的としています。

奨学金名	対象	給付金額	給付期間	採用人数
慶應義塾大学修学支援奨学金	学部生および大学院生	学費の範囲内の金額	1年間 （再申請可）	100名程度
慶應義塾大学東日本大震災被災学生復興支援奨学金	学部生および大学院生	学費の範囲内の金額	1年間 （再申請可）	6名 （2025年度実績）
ゴールドマン・サックス・スカラーズ・ファンド私費外国人留学生奨学金	学部・大学院に正規生として在学する私費外国人留学生	年額50万円	1年間 （再申請可）	10名

その他の経済支援制度

- 慶應義塾大学ローン制度
  慶應義塾が提携している金融機関から学生納付金（授業料等の学費およびその他の経費）を借り入れることができます。

学生の生活を守るための「食の支援」プログラムの実施

慶應義塾では、物価高騰や生活環境の変化に伴う経済的困窮等を抱える学生の生活を支えるため、企業との連携による「食の支援」を実施しています。費用は慶應義塾が負担し、延べ300名の対象学生が無償で本支援を受けることができます。

春学期（6～9月）と秋学期（11～3月）の期間中に毎月8つの食材セットを、支援を必要とする学生へ直接届けることで、食費の負担軽減と健康的な生活習慣の定着を図っています。経済状況によって学生生活や学修の継続が妨げられないよう、食の面から学生を支えています。

女性のからだ支援～Breezeプロジェクト～生理用品の無償配付

慶應義塾では、女性のからだ支援「Breezeプロジェクト」の一環として、経済状況による生活不安を抱える女子学生を対象に、生理用品の無償配付を実施しています。2025年度は、4月、7月、10月、1月の4回募集を行いました。また、生理用ナプキン無料提供ディスペンサーOiTr（https://www.keio.ac.jp/ja/about/engagement/diversity/breeze/）をすべてのキャンパスに導入しています。女子学生の生理に伴う心やからだの負担軽減とジェンダーギャップの是正に寄与し、快適な大学生活を送るための一助となることを目指しています。並行して専門医によるからだセミナーの開催や保健管理センターに「女性のからだ・男性のからだ相談室」を開設しています。